

大きく変わる学校

目黒星美学園が共学化、校名変更



サレジアン国際学園世田谷中学校

目黒星美学園中高は、1872年にカトリックの司祭ドン・ボスコによって創立された女子修道会「サレジアン・シスターズ」が日本に開校した学校の一つで、1960年に中学校が、1963年に高校が女子校として開校しました。先に開校した小学校が目黒区にあることから、校名に「目黒」がついていますが、中高は当初から世田谷区です。不確実な時代、多様化が進む社会を迎えて、どんな時でも、どんな壁にぶつかっても、真っ先に手を挙げられる人の育成が求められています。そこで、2023年度から共学化、校名を変更して「21世紀に活躍するための世界市民力」の育成に取り組んでいきます。

1. ドン・ボスコの学校として

ドン・ボスコは「良き市民の育成」「時代に合わせた教育」を目標に掲げていました。そこで現代に合わせて「世界市民力を育む教育」を目標としています。世界市民には、未経験の諸問題の解決のために、主体的に考え続ける力が必要です。日本語だけでなく他言語も用いた言語活用力、多様な文化的背景や価値観を持つ人々とのコミュニケーション力、日常的に科学的に思考し、判断することができる数学・科学リテラシーも求められます。ドン・ボスコの学校として、「考え続ける力」「言語活用力」「コミュニケーション力」「数学・科学リテラシー」、そして積極的に諸課題に取り組む「心の教育」を、教育の5本柱とします。

2. 全教科でPBL型授業を実践

全教科でPBL型授業を実践します。「知識の獲得→トリガー質問→個人で考える→グループディスカッション→結論を導く→振り返り」の流れで知識や応用の活用、問いの分析、考察する力を鍛え、クリエイティブ、ロジカル、クリティカルの3つの思考力を育成します。正解を暗記して定期テストをしのげばそれでおしまい、といった勉強では身につかない、正解のない問いに建設的な考えを見出し続ける学びを実践します。

3. 2クラス制と進路目標

インターナショナルと本科の2クラス制で、インターナショナルクラスは英数理社を英語で学ぶ

Advancedと、英語のみオールイングリッシュで学ぶStandardの2グループに分かれます。各教科の授業のほか、6年間を通してサレジアン・アカデミック・プログラムで、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートの実践を積み上げます。また、長短期・ターム留学や海外大学キャンパスツアーも実施、卒業後は海外大学や英語で学ぶ国際教養系大学が進路目標です。

本科はPBL型授業とゼミを軸に、「熱く探究する生徒」の育成を目指します。特にゼミは中1で探究スキルを身に付け、中2から高2の4年間で主体的に研究、論文執筆やプレゼンテーションで成果を発表することで、ジェネリックスキルを獲得します。また、高2から文系・理系に分かれ、放課後特別講座を実施、高3では入試対策講座も実施して国公立大学や難関私立大学、海外大学をめざします。インターナショナルと本科はカリキュラムが異なりますが、中3から高1に進級する段階で移動が可能です。

4. 2023年度一般入試について

インターナショナル国際生Advancedは2月1日午前・2日午後・5日午前に英筆記+英エッセイ(1日午前・5日午前はCEFR B1以上で英筆記免除)、本科とインターナショナルStandardは、2月1日午前・午後に2科4科、2日午後に4科、3日午後に4科から2科選択または思考力問題、5日午前に4科の入試を行います。2日午後は両クラスとも特待生入試です。